

Japan Art History Society
第77回 The 77th General Assembly 2024

美術史学会全国大会

於 / 愛知芸術文化センター（愛知県美術館）アートスペースA・小ホール

2024年5月24日（金）・25日（土）

当番校からのお知らせとお願い

1. 開催方式について

第77回大会は、愛知芸術文化センター(愛知県美術館)を会場とする対面方式のみで開催する予定です。5月24日(金) 13:30からの当番校企画「一千年紀のユーラシア宗教美術史—キリスト教と仏教を中心に」のみ、zoomミーティングを通じたストリーミング配信を行います。詳細は、第6項をご覧ください。

2. 参加申込と支払い **5月7日(火)申込・入金締め切り**

- ・総会・研究発表・懇親会への出欠等の参加申込は、毎日学術フォーラムが設置するWebフォームよりお手続き下さい。フォームは、大会ホームページ上にあるリンクから進んで下さい。

【大会HPのURL】 <https://jahs77aichi.studio.site/>

- ・総会を欠席される場合は、委任状の提出を大会ホームページ上から行って下さい。全国大会に参加されない方も、委任状の提出を忘れずにお願いします。
- ・必要事項を入力されますと、フォームに入力されたメールアドレス宛に、参加費振込先口座情報が送信されますので、各自期日までにお振り込み下さい。フォーム上では決済はできません。
また恐縮ですが、銀行振込のみに対応しており、クレジットカード決済はできません。
- ・振込先はゆうちょ銀行になります。紙の払込書は、今回同封されておりません。
- ・恐れ入りますがお振込みにかかる手数料はご負担くださいますようお願い致します。
- ・振込に際しては参加者名でお振り込み下さい。所属先・大学名の場合、どなたの参加費か判明しませんのでご注意ください。
- ・振込名義が参加者名ではない場合、必ず毎日学術フォーラム美術史学会会員係 (maf-jahs@mynavi.jp) まで振込情報と参加者名をお知らせ下さい。
- ・フォーム入力のみでは参加申込完了とはなりません。参加費のお支払いがない場合は、当日受付となりますので、フォーム入力の上参加費のお支払いもお願い申し上げます。
- ・参加費は下記の通りです。
大会参加費(5/7 まで) 2,000円 懇親会費 6,000円

3. 事前申込のお願い

当日の円滑な大会運営のために、大会参加費・懇親会費の事前払い込みにご協力ください。

※当番校企画のレクチャーは会場参加での定員200名となります。運営の都合上、先着順で締め切らせて頂きますので、会場での聴講を希望される方はお早めの申込完了をお願いいたします。

4. 会場受付

今大会の会場は、愛知芸術文化センター12階(アートスペースA)と地下1階(小ホール)に分かれています。総合受付は、12階のアートスペースA前に設置いたします。小ホールでの発表を聴講される方も、お手数ですが一旦12階にて受付をお済ませ下さい。よろしくお願い申し上げます。

※愛知芸術文化センターでは、他団体のイベントが行われている場合もあります。混乱がないよう受付にご協力下さい。

5. 総会委任状

総会は全学会員の5分の1の出席によって成立します。総会に欠席される会員は、美術史学会規約第6条に則り、委任状により参加できます。委任状提出の締め切りは、5月7日(火)です。繰り返しになりますが、全国大会に参加されない方も、委任状の提出を忘れずにお願いします。

6. 当番校企画のzoom 配信について

- ・zoom配信の視聴を希望される方は、大会HPにあるzoom配信申込用のフォームに必要事項を記入して事前申込をして下さい。
- ・申込の締め切りは5月7日(火)17:00 です。
- ・事務的な整理の後、申込時に記入されたメールアドレスに配信用のURLをお知らせいたします。
- ・配信の視聴は無料です。恐れ入りますが、特別な事情がない限り、会場参加との重複の申込はご遠慮下さい。
- ・オンライン上からの質問は、zoomのQ&A機能を通じて受け付けます。ただし、対面の会場での質疑応答が優先されます。また、Q&Aによる質問は、司会者が適宜選択して読み上げますので、必ず応答があるとは限りません。

7. 参加申し込みの締め切り日（5/7）以降の扱い

3,000円の参加費にて当日現地でも受付を行います。ただし、懇親会の参加はできない可能性があります。事前申込をされていない場合は、大会運営上ご希望に添った対応ができないこともあります。重ねて、締め切り日までの参加申し込みをお願い申し上げます。

8. 出張依頼状 4月26日(金)締め切り(必着)

所属機関長への出張依頼状が必要な方は、機関名・所在地・機関長名を明記の上、美術史学会本部事務局へお申し込み下さい。（※大会実行委員会ではありません）

美術史学会本部事務局 〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内27-1
東北大学文学研究科美学・西洋美術史研究室 気付
美術史学会本部事務局
Email gakkai-east@gmail.com

9. 発表要旨・副次資料のダウンロードのお願い

今大会では、紙媒体での発表要旨・副次資料の提供はしていません。聴講される皆様におかれましては、お手数ですが事前に大会HP掲載の電子ファイルをダウンロードしてご参照下さい。

【ダウンロード可能時期の目安】発表要旨～4月中旬以降、副次資料～5月20日以降

10. 宿泊

大会実行委員会は宿泊の斡旋は行っておりません。各自でご予約下さいますようお願い申し上げます。会場となる愛知県美術館は、名古屋市の中心部（栄地区）にあり、周辺には宿泊施設は多数ありますが、イベント等が重なり予約が取りづらくなる場合もあります。そのため早めの宿泊予約をお勧めします。

11. 昼食

大会期間中の昼食につきましては、会場周辺の飲食店をご利用下さい。

12. 懇親会場

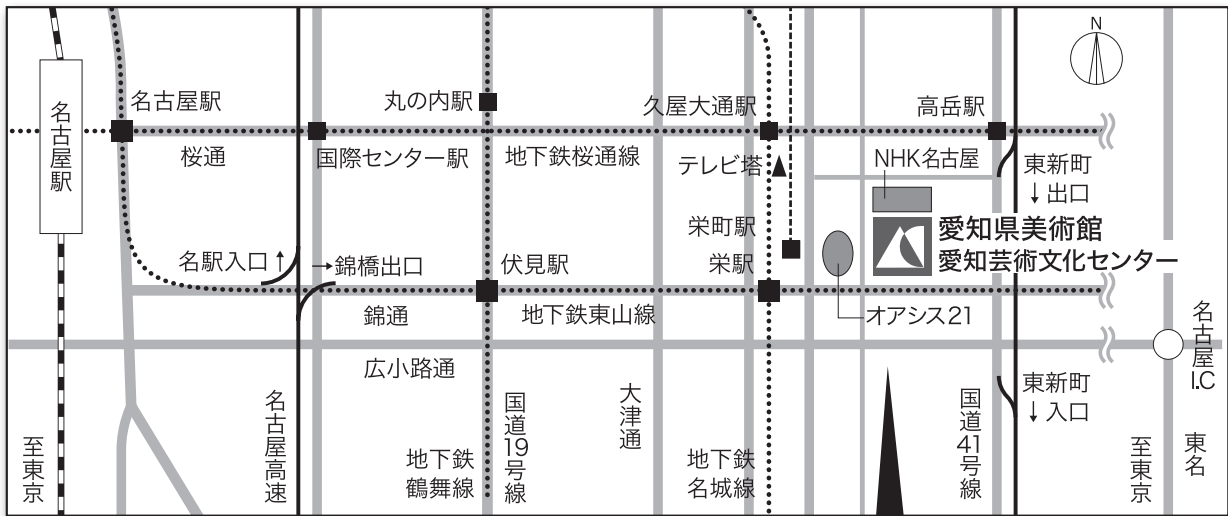
懇親会場は、各分科会が開催されるのと同じ建物である愛知芸術文化センターの10階にありますウルフギャング・バック・カフェ愛知芸術文化センター店になります。【URL】<https://www.wp-japan.jp/restaurants/>

13. 感染症対策

近年の社会的動向を鑑み、今大会では特別な感染症対策を実施いたしません。各自の御判断で対策をお願いいたします。なお当日会場では愛知芸術文化センター（愛知県美術館）のガイドラインに従ってご対応頂ければ幸いです。参加される皆様は体調にお気を付けてお越しください。発熱などの症状がある場合は、恐縮ではございますがご来場をお控え頂ければ幸いに存じます。

大会会場へのアクセス

周辺地図



交通案内

■ 地下鉄 ■

東山線または名城線「栄」駅下車、徒歩3分
(オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由)

■ 名 鉄 ■

瀬戸線「栄町」駅下車、徒歩2分
(オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由)

■ 自動車 ■

名古屋高速東新町出口から3分



第77回美術史学会全国大会実行委員会

事務局 *学会についてのお問い合わせはこちら

名古屋大学大学院 人文学研究科 美学美術史学分野専門内

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

E-mail : jahs77aichi@gmail.com

会 場 *会場へのアクセスについてはこちら

愛知芸術文化センター (愛知県美術館)

〒461-8525 名古屋市東区東桜一丁目13番2号

Tel : 052-971-5511

学会ホームページ

URL : <https://jahs77aichi.studio.site/>



5/24^金 **【初日プログラム】** 総会・美術史学会賞表彰式・講演会

受付 9:30～ 愛知芸術文化センター12階 アートスペースA

会 場	愛知芸術文化センター12階 アートスペースA ※当番校企画のレクチャーは定員200名となります。運営の都合上、先着順で締め切らせて頂きますので、お早めの参加申込をお願いいたします。
10:00-12:00	総会、『美術史』論文賞表彰式
12:00-13:30	昼休み
13:30-18:00	レクチャーとディスカッション 「一千年紀のユーラシア宗教美術史 ― キリスト教と仏教を中心に」 総合司会 拝戸 雅彦 (愛知県美術館元館長) 講演者 加藤 磨珠枝 (立教大学教授) 宮治 昭 (名古屋大学名誉教授) コメンテーター 木俣 元一 (名古屋大学名誉教授) 森 雅秀 (金沢大学教授)
13:30-13:40	趣旨説明 (木俣 元一)
13:45-14:45	講演1 加藤磨珠枝「西洋中世美術からの再解釈 ― 古代ローマの遺産、ユダヤ、イスラーム」
14:50-15:50	講演2 宮治昭「ガンダーラとバーミヤーン ― 文化交流のダイナミズム」
15:50-16:05	休 憩
16:05-17:05	コメンテーターによるコメント (木俣 元一、森 雅秀)
17:05-17:25	講演者による応答 (加藤 磨珠枝、宮治 昭)
17:25-18:00	会場を含めたディスカッション

5/25(土) 【2日目プログラム】 研究発表・懇親会

受付 9:30～ 愛知芸術文化センター12階 アートスペースA

会 場	アートスペースA (12階)	小ホール (地下1階)
	第一分科会	第二分科会
10:30-11:10	アトス山聖パンテレイモン修道院レクショナリーの「神殿奉献」図像解釈に関する一考察 清水 悠佑 (早稲田大学)	浄瑠璃寺九体阿弥陀中尊像の成立事情 ―迎接房教懷の往生思想との関わりをめぐる― 高橋 知可 (京都芸術大学)
11:10-11:50	『イザベル・スチュアートの時褙書』に見る願いのかたち ―「生」と「死」の接続から生まれ出づるもの― 田邊 めぐみ (関西大学)	男神形の善如龍王像の成立について ―高野山金剛峯寺所蔵「善女龍王像」を中心に― 清水 紀枝 (早稲田大学)
11:50-13:10	昼休み	
13:10-13:50	ピエロ・デッラ・フランチェスカ《モンテフェルトロ祭壇画》―ウルビーノ公とフランチェスコ会厳修派の関係性を中心に― 杉山 太郎 (京都大学)	土佐光茂様式の形成とその水墨表現 ―大英博物館蔵「牧馬図」を中心に― 村上 かれん (京都大学)
13:50-14:30	ジョヴァンニ・ベッリーニ二作、ディレッティ礼拝室のための祭壇画 ―注文主の遺言書に基づく考察― 須網 美由紀 (名古屋大学)	日本二十六聖人記念館蔵「漆塗大傘」の主題と成立環境 ―16～17世紀の東アジア漆工品とポルトガル― 鎌田 満希 (東京大学)
14:30-15:10	16世紀フィレンツェにおける彫像の社会的機能による視点の設定 ―ミケランジェロの《ダヴィデ》とその対作品案をめぐる一考察― 新倉 慎右 (慶應義塾大学)	大岡春卜の草花図と『明朝紫硯』 波瀬山 祥子 (大阪大学)
15:10-15:30	中休み (20分)	
15:30-16:10	ヨーリス・フフナーヘルにおける自然信仰と宇宙観 ―《レダと白鳥》(1591年)を中心に― 河村 耕平 (東北大学)	近代日本の画家とイスラーム美術 ―児島虎次郎、南薫造、吉田博を中心に― 鎌田 由美子 (慶應義塾大学)
16:10-16:50	女性画家エレオノール・エスカリエの制作活動とその自己表象 ―19世紀後半のフランスにおける産業芸術振興運動の観点から― 志水 圭歩 (お茶の水女子大学)	小川三知作「宮越邸ステンドグラス」の制作背景とその後の展開について 篠崎 鈴 (学習院大学)
16:50-17:30	カンディンスキー作《白い縁取りのある絵(モスクワ)》―抽象絵画成立前夜の空間表現について― 山田 由紀 (京都大学)	藤田嗣治「秋田の行事」にみる地域性の表出 ―1930年代の日本活動期における壁画の特質― 大島 一武輝 (東京大学)
18:00-20:00	懇親会 ウルフギヤング・パック・カフェ (愛知芸術文化センター10 階)	